

わたしたちのまわりにある地域の資源

持続可能な地域づくりをしていくためには、わたしたちが住んでいる地域の資源を上手に活用することが大切です。わたしたちが住んでいる地域の資源を探してみましょう。

自然が生み出すもの

よく考えてみると、わたしたちの生活は、自然のめぐみによって支えられています。きれいな空気、豊かな水、食料や資材、自然の上に成り立つ独自の文化やわたしたちをリフレッシュさせてくれる美しい景観など、自然のめぐみの種類は数えきれません。

こうした自然を象徴するのが、森・里・川・海です。森・里・川・海はお互いにつながり、影響し合ってめぐみを生み出しています。しかし、行き過ぎた開発や手入れ不足などによって、そのつながりが絶たれたり、それぞれの質が下がったりしています。自然のめぐみを地域の資源として活用し、その地域ならではの文化や風土に学びながら、地域における魅力の再発見と豊かな暮らしの実現につなげていくためには、森・里・川・海が健全な状態でつながっていること、昔の知恵と技に最新の技術を組み合わせ、森・里・川・海が持つ力を活かしていくことが必要です。

コラム 伊勢志摩国立公園「天空カフェテラス」

伊勢志摩国立公園では、英虞湾の景色をゆっくり楽しむことができるよう、横山展望台に「天空カフェテラス」を新しく整備しました。カフェでは、この土地ならではの食の体験ができます。また、海外からの旅行者により楽しんでもらえるよう、展示の多言語化などの工夫も進めています。今後も世界中の旅行者をひき付ける取組を進めていきます。

● 伊勢志摩天空カフェテラス全景



資料：環境省

● 伊勢志摩国立公園

<http://www.env.go.jp/park/iseshima/>



● 伊勢志摩国立公園全体図



資料：環境省

自然エネルギー（再生可能エネルギー）

石油や石炭など、エネルギーを作るための化石燃料は、ほとんどを海外から輸入しています。わたしたちのまわりにあるものから、エネルギーを作ることはできないのでしょうか？

わたしたちのまわりには、太陽光、風力、水力、木質バイオマス、廃棄物エネルギー、地熱、温泉熱など、一度利用しても短期間で再生が可能な「再生可能エネルギー」と呼ばれるエネルギーがあります。この中でも、太陽光を中心にその活用にかかる費用は急速に安くなっており、世界的に普及が進んでいます。日本の再生可能エネルギーは国全体で必要なエネルギーの約1.8倍もあると推計されており、上手に活用していくことが大切です。

太陽光発電

日光がよく当たる場所などにソーラーパネルを置き、太陽光の力で発電します。



バイオマス発電

木くずなどの生物の資源（バイオマス）を使って発電します。



風力発電

風が風車を回す力で発電します。海の上で行う海上風力発電もあります。



廃棄物エネルギー

廃棄物を利用して発電します。発電の時に出る熱も利用します。



地域の資源は「お互いさま」

都市には人とお金が集まりやすい一方で、地方には食料、水、木材といった資源やエネルギーが存在します。こうした人やお金、資源、エネルギーなどが循環することで、お互いに必要としているものを補い合い、支え合うことができます。こうした地域間のつながりを、都市と地方だけでなく、様々な地域どうしが築いていくことが必要です。

